

意見交換

河井 「河野談話」(1993)の主要部分を読み上げる。「今次調査の結果、長期にかつ広範な地域にわたって慰安所が設置され、数多くの慰安婦が存在したことが認められた・・・旧日本軍が直接或いは間接にこれに関与した。慰安婦の募集について・・・甘言、強圧による等・・・官憲等が直接これに加担したこともあったことが明らかになった・・・当時の軍の関与のもとに、多数の女性の名誉と尊厳を深く傷つけた問題である。・・・政府は・・・心身に癒しがたい傷を負わされたすべての方々に対し心からお詫びと反省の気持ちを申し上げる・・・」(官房長官 河野洋 (WikiPediaによる))



今朝の朝日新聞に、日韓合意の説明をしたら、29人のうち評価したのは半数に満たない14人だったという記事がある。残りは拒否したか無回答かだろう。(2016.5.14)

藤村 「アジア女性基金」に対し、従軍慰安婦の人たちは、私たちは乞食ではない、日本政府に謝ってもらいたいのだと言った。政府がしたことなのに、民間に責任をなすりつけるようなものだ。

藤川 年表の去年12月に「最終的かつ不可逆的に解決し」たとある。安倍さんはいつもこういう。振り返って反省はしないということだ。

藤村 いつまでも言い続けなければいけないということだ。

井原 共同研究をして、これが歴史的事実だということをもとに議題にむかっていくことが必要だろう。共通認識をもたなければいけない。



河井 どっちが正しいかわからないにしても、南京事件や慰安婦問題について、日中・日韓共同の研究所を設置して、共通認識を得ることがまず必要であろう。

井原 個人の研究だけでなく、韓国と日本の合同の公的な研究所で研究するのではないと。

河井 公的な研究所で直接関係者や個人研究者が証言するようになるとすばらしい。

白木 南京事件でもそうだが、事実がどうだったかが、わからない。確かな事実にもとづいて議論しないといけない。

藤村 南京でも、いろんなところで何十人、何百人と虐殺され、その碑がある。長江の方へつれて行って一斉に銃殺し、河が血の海になったという。「これは今日発掘した骨」というのが展示してある。南京へ行ってみたら、何があったかということはよくわか

る。わからない人は、桜井よしこ氏のように行かないで議論しているのだろう。

井原 南京事件でも慰安婦でも、あったことは多分認めざるをえないことになっているのだろう。被害者の数はそんなに多くはないというが、数の問題ではない。実際にあったということは事実だということから出発しなければならない。強制でなかったということ逃げ道にしているが、戦争中だから、常識で判断してわかる。



河井 いろんな事実が語られているが、それらを公の研究所が全部あつめて、1冊（または数冊）の本にして、どこまでが真実であるかを研究することが必要だ。

中尾 被害者はもう 90 になっていると思う。生存する人はすくなかろう。パククネ氏と話し合いして、たったの 10 億円でしょう。それっぽちでは救済できない。

河井 死んだ人には賠償しなくてもいいことになる。それじゃ死ぬのを待てばいいということになる。遺族に賠償金を払うということも必要だ。

中尾 そういう制度を作るべきだ。なくなった人は補償しないという問題ではない。日本へいったら高等女学校に行かせてやるといわれ、親の反対もきかずに募集に応じたら、台湾へつれていかれ、妊娠しない手術をされ、そのあとは名前ではなく番号で呼ばれ、インドネシアへつれていかれた。反対すると注射を打たれる。団結して拒否すると、みんなを集めて日本刀でひとりの首をきりおとした。戦後は両親は自殺、家は荒廃していた。そういう本を読んだ。うそだ、本当だという問題ではない。それを日本政府はうそだ、などと言っている。情けない。ドイツ首相が強制収容所で膝まづいてあやまった。それだけでポーランドはドイツを許した。まごころというのは大事だと思う。

藤村 台湾で登校中の女の子の一人がジープにのせられ、そのまま南方につれていかれたという話をきいた。横田めぐみさんと同じだ。両親は娘が帰ってこないが、どこへいったのじゃろうかとあわてる。そういうふうにして連行された。

河合 戦前の国際法には、女性虐待を禁止するような法規はないのか。

藤村 何重にも国際法違反なのだ。

天野 大東和共栄圏のなかで慰安婦問題もおこった。日本は侵略として認めないが、アジア諸国の人たちからすれば明らかに侵略で、日本はそれを認めることが必要だ。安倍首相がやっていることはヒトラーと全くおなじ。すばらしいワイマール憲法がヒトラーによって踏みにじられた。経済政策と、隣国を侵略する外交政策、それとマスコミ操作。今安倍がやっていることと一緒だ。株式操作まで国策でやっている。日銀を抱き込み、NHK と日銀総裁を握りしめた。大事なポスト



は安倍のお気に入り配置する。従軍慰安婦でも、日本が朝鮮や中国をばかにしていたことの表れだ。江戸時代から培われた、名もなき民が国を支える。お上にさからわないから国はやりやすい。だから政治がそだたない。政治的に国民が鈍感。日本は原爆被爆

者の国というが、日本がアジアを侵略したことは認めない。それでは国際的に評価されない。やられたことは言うけれど、やったことは贖罪しない。その矛盾にも気づいていない。その鈍感さがたまらなく嫌だ。

河井 私は日本史を教えたが、明治のはじめまでで、大正・昭和の現代史を教えなかった。私の頭のなかにも現代史は入ってなかった。これをお詫びしなければならない。

天野 現在は違う。現代史をちゃんと教えている。

井原 ドイツは、ナチスが誤ったことをしたという認識から、戦後が出発したと思う。日本の政治家や権力者は、戦時中の日本が間違っただけを認めていない。昔の体制を維持しようとしている。敗戦を認めないで、前の体制を残していこうというのが安倍氏たちのやりかただ。敗戦をみとめない、という本が売れた。なぜ侵略戦争を認めないのかというと、自分たちの権力構造を維持するために認められないのだ、という方がいた。普通の人には、侵略戦争をして間違っただけをして、負けたのだという考えをもっていると思う。権力者はそれを認めたくないのだろう。戦後も、日本の統治機構を温存しながら、占領政策を推進して戦後の日本をつくっていった。残された権力者は敗戦ということを認めたくない。ナチスのように切ってしまうやうだ。アメリカに助けられたから、アメリカにはさからえない。逆にアジアは見下げていく。日本はたいへんなことをやってしまったのだ、という認識がない。

河井 戦後に岩国駅のあたりに歓楽街があった。あれは米軍が作ったのか。日本政府が作ったのか、民間のものだったのか。日本のように、軍が慰安所を作ることはしていないのじゃないか。今は慰安所に相当する場所は、岩国には全くないのか。(岩国市の『岩国市史』の「通史編」は「2 近世」までしか刊行されていない。「史料編 3・2 近代・現代」、その他にも関連資料はみあたらなかった)

井原 でも相手がやったから日本もいいのだという議論はなりたたない。自分たち日本がやったことがよくなかったということが大事なのだ。橋下氏などはどこでもやっているというが、そんなものではない。責任とるべきことははやくとらないと、中尾さんのいうように過去のことになってしまう。

河井 それも国と国との賠償か、日韓合同でするのがいいのか、日本政府が被害者個人にする賠償か。

井原 それはもちろん一人ひとりにたいして。

藤村 韓国や中国へ行ったとき、慰安婦の故郷の家族から、まだ帰ってこないのだから、どうぞ連れて帰ってくれ、といわれた。まだそういう人が残っているのだ。

河井 それは現在も残っている大きな課題で、早く実数、実態を調べる必要がある。

藤村 朝鮮から樺太へ強制連行した人が、今もたくさんいる。

中尾 岩国にも強制連行して愛宕山にトンネルを掘る工事をさせ、なくなった人で、ここのお寺に葬られている人もある。その遺族と思われる若い女の人が愛宕山集会にきた。

討論参加者 (逆 50 音順)

藤村英子 周防大島町下田

| | |
|------|-----------|
| 藤川俊雄 | 岩国市平田 |
| 中尾友俊 | 周防大島町森 |
| 白木茂美 | 岩国市平田 |
| 河井弘志 | 周防大島町日前 |
| 河合建夫 | 周防大島町西安下庄 |
| 井原勝介 | 岩国市今津町 |
| 天野一博 | 岩国市牛野谷町 |

市民自らの政策を持とう！

世話人 河井弘志

742-2804 山口県大島郡周防大島町日前 1039

0820-73-0198